

令和6年3月5日
(2024年)

保護者の皆様

吹田市立東山田小学校
校長 植村 誠

学校教育アンケートの集計報告

立春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、「学校教育アンケート」には、多くの回答をいただき、貴重なご意見を聞かせていただくことができました。ご協力ありがとうございました。

学校アンケートを集計・分析するに当たり、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の回答を肯定的な意見ととらえて分析いたしました。また、より多面的に分析するために、2年間の結果を同時に掲載して経年比較しやすいようにグラフ化しました。

アンケートの集計結果については、今年度の本校の教育活動についての成果と課題を検証する資料とさせていただきます。今後とも、本校の教育活動の充実のために、保護者の皆様には、よりよき理解者として、引き続きご支援ご協力をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、アンケートの集計結果については、学校ホームページにおいてもご覧いただけるようにします。

【評価全般について】

保護者アンケートの(1)「学級・学年の教育活動に関するもの」(2)「学校教育活動、学校運営に関すること」からは、肯定的な回答が18項目中14項目で90%を越えていました。また、(3)「家庭での接し方」からは、肯定的な回答が4項目中すべてで90%を越えていました。次に、児童アンケートからは、肯定的な回答が13項目中10項目で90%を越えていました。

【保護者アンケートから】

90%未満の項目については以下の4項目でした。

<学級・学年の教育活動に関するもの>

「学級では、学力の定着に役立つよう、学習形態や指導方法を工夫している」

84% (R4) →85% (R5)

「いじめのない学級づくりに取り組んでいる」

85% (R4)→89% (R5)

<学校教育活動・学校運営に関すること>

「学校は、教育方針をわかりやすく伝えている」

86% (R4)→86% (R5)

「学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている」

86% (R4)→89% (R5)

<家庭での接し方>

4項目ともに昨年度同様に90%を超える肯定的な回答でした。

【児童アンケートから】

90%未満の項目については以下の3項目でした。

「授業で分からないことは、先生に質問できる」

81% (R4)→84% (R5)

「学校には、相談できる先生がいる」

90% (R4)→88% (R5)

「本を読むことや、読んでもらうことが好きだ」

96% (R4)→86% (R5)

今年度も保護者の皆様も子供たちも概ね学校運営に対し肯定的に捉えて頂いていますが、来年度につきましてもより多くの保護者の皆様や子供たちの思いに応えられるような教育活動を進めて参ります。また、評価が90%未満の項目については、課題として捉え、工夫・改善に向けた取り組みを進めていかなければならないと考えています。

まず、<学級・学年の教育活動に関するもの>「学習形態や指導方法の工夫」については、学校では、ICTを活用した協働的な学びについて研究を進めてきました。今後、児童の学習課題をより精査し、現行学習指導要領の趣旨をさらに大切にしたい、効果的な指導方法の改善工夫に努めます。「いじめのない学級づくり」については、取り組みの中で積極的ないじめの認知を重要視しており、早期発見・早期解決に努めています。2学期からは「デイケン」を活用した相談体制も始まっています。いじめ事象については、集団生活の中であらゆる場面で起こる可能性があるにとらえています。特にいじめの加害側は、安易な認識だったとしても、被害児童は傷つき苦しむ結果となります。学校だけでは解決しない場合もあるかと思しますので、保護者の皆様にも共にご協力いただき、いじめをなくす取り

組みを進めてまいります。次に<学校教育活動、学校運営に関すること>「教育方針について」「学校と家庭との意思の疎通」については、今年度は、さくら連絡網の活用を積極的に進めてきました。学校だよりやその他の連絡を添付し、メールからいつでもご覧いただけるようになりました。また、欠席連絡もより円滑に行えるようになり、学級休業等の判断や対応も素早く行えるようになりました。今後も活用を進めてまいります。

また、<家庭での接し方>の質問の中で、すべて90%を超える回答をいただいております、あらためてご家庭での子供たちへの意識の高さが、児童一人ひとりの成長を育てているのだと感じています。<児童アンケート>「授業でわからないことは先生に質問できる」については、改善傾向はみられるもののまだまだ課題だと捉えています。現行学習指導要領の趣旨を重視しながら授業改善を進め、一人ひとりの児童が自らの学習課題の解決に向かう支援について研修を深めていきます。「学校には、相談できる先生がいる」については、先生に対して一定の距離を感じている児童がいることを意識しながら、様々な角度からのアプローチに努めていきます。担任だけではなく養護教諭やスクールソーシャルワーカー（SSW）やスクールカウンセラー（SC）も活用しながら、気軽に相談できる学校体制を整えていきたいと考えています。「本を読むことや、読んでもらうことが好きだ」の項目については、児童の生活の変化により、読書をする機会が失われていく中で、学校として読書活動の重要性を再認識し、読書活動支援者を活用しながら啓発に努めていきます。

<保護者のご意見・ご感想について>

学校に対する貴重なご意見・ご感想をお寄せいただきました。肯定的なご意見を数多くいただき、大変励みになりました。また、改善すべき点も明らかになりました。この紙面では一つひとつのご意見に対し適切にお答えすることができませんが、それぞれのご意見を学校として真摯に受け止め、今後の教育活動や学校運営に生かしていきたいと考えています。

まず、学校行事を行う際の人数制限については、今後もその方向で進めることを考えています。特に運動会については、保護者の皆様にご観覧していただくうえで危険性を考慮した結果、人数制限を行うに至りました。ご理解とご協力をお願いします。

次に、来年度からは、1年生から5年生までは35人学級編制となり、6年生のみ40人学級編制となります。今年度の5年生は、40人学級編制では4クラスでしたが、5クラスとして学級を編制しました。来年度につきましても、40人学級編制で4クラスだった場合においても、5クラスとして学級を編制することを考えています。

学校と家庭との信頼関係をより確かなものにするため、ご家庭との情報を共有しながら、子供たちがより良い学校生活を過ごせるよう取り組みを進めてまいります。また、来年度からは、研修の内容も改め、校内の体制を充実させながら、これまで以上に人材育成に努めてまいります。

今回のアンケートにつきましては、いずれも、貴重なご意見として受けとめ、今後の教育活動の参考とさせていただきます。ただ、物事のとらえ方や感じ方、価値観等には違いがあり、同じ事柄に対して様々なご意見も見られます。学校としては、「まず子供たちにとって大切なことは何か」を大切にし、取り組みを進めてまいります。

子供たちの健全な育成を願うという目標を、学校と家庭とが一つにするため、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。アンケートへのご協力ありがとうございました。